

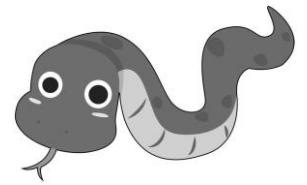
笑ってごらん

第 592 号 H. 29. 7. 18 発行

～今日のことば～

“楽しい”と“楽”は違うよ。“楽しい”と“楽”は対極だよ。楽しいことがしたいんだったら、楽しちゃダメだと思うよ。
(甲本ヒロト)

◇◆12～13 日、地元加世田の『次世代経営塾いろは会』の研修視察で沖縄に行った。今回の主たる研修目的は「人口増加の一途にある沖縄の経済動向ならびにハブ空港としての機能について学ぶ」ことであった。◆まず K 銀行沖縄支店を訪問し、現在の沖縄についての基礎的なレクチャーを受けた。全国的には少子高齢化の日本であるが、沖縄の人口は年々増加（死亡数より出生数が多い人口自然増状態）、観光客数も数年前から外国人客の増加が著しい（昨年のクルーズ船寄港 407 隻）。現在建設予定のホテルが 43。人はどんどん増えているが、土地に限りがあるため、地価の伸び率は全国 2 位。◆次に、Y 運輸を訪問。現在、那覇空港は物流の国際中継地点（ハブ空港）としての機能を充実させつつある。観光客も多いため、空港はパンク寸前である（事実、私たちの便も着陸調整のため遅れた）。ゆえに、海側に第 2 滑走路ができるとか（2019 年）。本来、国際物流については 2 国間で「輸出」・「輸入」を行う（輸出入時に課税される）が、今回の話では、「輸出」されてきたモノをまとめて沖縄の倉庫に「仮置き」して（輸入処理をせずに）、品によっては倉庫内でいくつかのモノ（部品）を組み合わせる最終的な製品化作業を行い、「製品」の日本必要数分だけを「輸入」し、残りは倉庫からさらにアジア圏各国へ移送する。そうすることで関税を安くでき、製品価格を抑えられるメリットがある。今まで専門外ゆえに考えもしなかったことだけに、大変勉強になった。◆2 日目は美ら海水族館・嘉手納米軍基地を訪れ、往復のバス内でガイドさんから様々な興味深い話を聴くことができた。梅雨明けの猛暑の中、予定のみっちり詰まった行程ただけに疲労度も高かったが、沖縄の産業・風土の一部を知ることができて大満足だった。◇◆さて、先週から体育大会の練習が始まっている。季節の変わり目だからか梅雨期の名残りで妙に蒸し暑い。身体が暑さに慣れていないこともあって、最近熱中症様症状で受診を必要とする生徒が多かった。よって、当初は体育大会の練習は午後に組んでいたのだが、午後は一番気温が高くなるため、急遽、少しでも気温の低い 1・2 時間目に変更した。睡眠・食事をしっかりととり、水分補給をこまめに行うよう各自心掛けて欲しい。◇◆高校は 20 日（木）、専門課程は 22 日（土）が終業式である。既に夏休みの宿題も提示されていることと思う。休みの終わる直前ギリギリになってバタバタ形だけ整えるのでは意味を成さない。計画的に取り組もう。アルバイトを頑張る人も多い。有意義な夏にして欲しい。始業式は、専門課程 8 月 17 日（木）、高校 28 日（月）。



感謝道

◇◆15～16 日、長崎市で行われた全九州高等学校水泳競技大会に西村選手が出場。競泳 200m 自由形及び 100m 自由形の 2 部門で九州各県代表と競ったが、残念ながら予選敗退。本校には水泳部が無いため鳳凰高校生個人として鹿児島県大会に出場、好タイムであったことから九州大会へ出場権を得たものだった。今回満足のいく泳ぎができたかどうかは本人のみ知るところであるが、得難い経験ができたことは事実。この経験を下に今後益々尽力して欲しい。お疲れ様。◇◆17 日（月）、今夏初めての『体験入学』を実施した。約 130 名の中学生・保護者が参加。本校の各学科の内容を知っていただくため、趣向を凝らした内容を体験してもらった。朝から 30℃を超える猛暑の一日ではあったが、参加者の笑顔が印象的であった。スタッフの皆さんもお疲れ様でした。『体験入学』は今後、7/23（日）・8/5（土）・8/8（火）・8/9（水）・8/10（木）に実施予定。例年、約 1,000 名の参加者がある本校の体験入学。今年もより多くの中学生に参加・体験を通じ笑顔になって欲しい。